



EMD・EMDS・EMDMタイプ の据付方法

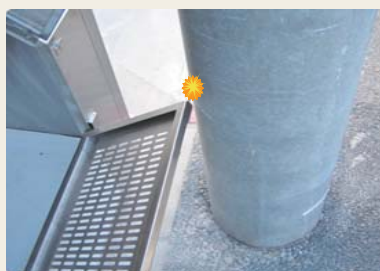
※土間や砂利など地面が不安定な場所や、
高台、道路際などは設置に向いていません。
必ず安定した地面に設置してください。

■ EMD・EMDS(スリム)・EMDM(ミニ)タイプの設置条件

EMD・EMDS・EMDMタイプは、正面上扉が手前に倒れます。
前面から**最低でも500mm以上**はあけてください。



×良くない設置例



■ EMD・EMDS・EMDMタイプの設置注意点

EMDタイプはダンパー式の扉となり、壁際にぴったりくっつけて設置可能です。
EMタイプやEMSタイプの設置が不可能となるような、奥行きが狭い場所へは、
EMDS(スリム)タイプの設置が可能です。



■ EMDシリーズの設置例



スリムタイプは通路にも設置可能です



限られたスペースでも……

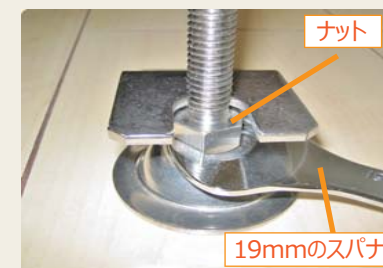


容量が確保できています



固定工事完了後に、扉のズレなど、
水平がずれてしまった場合でも…
⇒高さ調整可能です！

19mmの薄いスパナで
横からナットを回しながら、
高さを調整してください。





■ アンカーの固定工事

①最初に水平を出します。



水平器を使って、前後左右の水平を出します。
アジャストボルト(4コーナーにある足)を回して、
水平が出るように高さを調整してください。
勾配が25mm以上の場合は、オプションのアジャストボルト
をご使用ください。(※2ページ参照)
※ボックス内に雨水等を溜めたくない場合は、やや前傾になるように
調整します。



水平が出ていないと○の部分で、
上扉と左右の側面の隙間が均一に出ません※。
均一に出ていない場合、扉の開閉時に側面に当たり
ますので、ここを基準にして水平を出してください。

※この部分の隙間を均一にしてください

②アジャストボルトに固定金具を乗せます。



◎正しい例

◎このナットの上に
固定金具を乗せます

◎この部分に隙間があればOKです

下の写真のような乗せ方では、アンカーが効きません。
(本来はこの乗せ方ですが、アースボックスに関しては、
左の写真のように乗せてください。)



×悪い例

×ナットの上に乗っていません

×隙間がありません



③ハンマードリルで地面に穴をあけます。



写真のように、②の固定金具に開いている穴を、
ボックス内の中心部に向けて置きます。
その後、ハンマードリルで地面に穴をあけます。

アンカーは、基本的に4コーナー全てに打ちます。
地面の状況により難しい場合は、3ヶ所でも可能です。
2ヶ所の場合は対角に打ってください。



④アンカーを打ち込みます。



打ち込み棒

アンカーを穴に入れ、ハンマーでアンカーのピンを叩きます。
写真のように、ピンを叩く打ち込み棒があると叩きやすいです。
(ピンを叩く時は、ピンが折れないように気を付けてください)



地面の穴の深さに合わせて、
アンカーの↔の長さを調整してください。
アンカーのナットを回して調整します。



ピンを叩いた後、締められるようでしたら、アンカーのナットをボックスレンチ等で締めます。



【叩きかたのコツ】

アンカーが穴に入りづらい場合は、
打ち込み棒やハンマーなどでナット
部分を叩くと、簡単に入ります。



⑤最後にカバーをかぶせてネジで締めたら、終わりです。



角穴にカバーをかぶせてネジで締めます。
ネジは4ヶ所仮締めを行ってから、本締めして下さい。

(白いビニール面の方が上側になります。
剥がしてかぶせてください。)